



大江の風

9月18日
No.46



ドッジボールクラブが九州大会(鹿児島)に出場し、見事3位に入賞したそうです。すご〜〜い！！夏休み、あの暑い体育館で練習をがんばっていたもんね。練習の成果が発揮できてよかったですね。本当におめでとう！！

安心・安全な学校であるために



赤門横。隣のマンションまで枝が伸びて電線にもかかっていた。

大江小の安全についての懸案事項の1つに、樹木があります。4年前学校のシンボルツリーである大えのきが、台風によって倒木しました。大江小をずっと見守ってきてくれた大切な大えのき。いろいろな方々のご協力です。新しい命が芽生え、それから「大えのきプロジェクト～命のリレー」が始まりました。今、3年生の総合的な学習の時間でも、大えのきについて調べているようですね。

さて、本校にはその大えのきと同じ年齢のえのきや老木・桜の木がたくさんあります。卒業生にとってはとても思い出深い木たちでしょう。その木々が倒木のおそれがあるかもしれない・・・ということなんです。何か行動をしなければと思い、先日、診断の見積もりに樹木医さんに来ていただき、いろいろお話を伺いました。近くの高校で昨年、風一つ吹いていない時に、何の前触れもなく、大木が自転車置き場に倒れたそうです。午後6時。通常だったらたくさんの生徒が自転車置き場にいたことでしょうか、その時はたまたま試験で生徒は早く帰っていたので命拾いをしたとのこと。（よかったですね〜。）そういえば、近所の小学校でも、もう10年以上前にはなりますが、放課後突然倒木したことがありました。校長先生



作業は丸一日かかりました。見た目はかわいそうだけど剪定は木にとってもよいそうです。これで強風が吹いても大丈夫かなあ〜。

の車すれすれに倒れたとか・・・つまり、木は台風の時だけでなく、突然倒れることもあるということです。その理由は、木の幹の中が空洞になっていた（つまり瀕死の状態。キノコが生えたりする。）根っこを切断してあったり（木を植えた時には何もなかった地面が、道路ができたセメントで囲ってしまったりで根を切断している場合が多い。今その根がどういうふうになっている

のかわからない)で、いつ倒木するかわからないとのことでした。樹木の診断は、幹の中が空洞になっていないかを機械で測定したり、目視や木槌を使ったりしての診断になりますので、大変高額です。役所やいろいろなところに相談していますが、頭を痛めています。大切な大江の木です。大事な命です。でも樹木が校内というたくさんの子どもたちが出入りする場所であるため、より慎重にならねばならないと思っています。とりあえず役所をお願いして、台風シーズンの前に赤門と体育館横の大えのきの剪定をお願いしました。14日のお休みの日に高所作業車が来て、ぱっさり切ってもらいました。なんか・・・はげっぱになっちゃって、見た目にかわいそうな姿になってしまいましたが、そういう理由ですのでご了承ください。

おまけ

3年生で算数の授業研究会がありました。余りのあるわり算のひみつを探っていました。タブレットで●を動かしながら、きまりを見つけました。個人で考えたあとは、みんなで知恵を出し合い考えを深めました。前に出てカードを並び替えていくと・・・おお〜「数の美しさ」が見えてきます。割る数とあまりの関係についてしっかり考え学んだ1時間でした。

